

すばやく簡単に組める基礎



施工要領書 ver.10

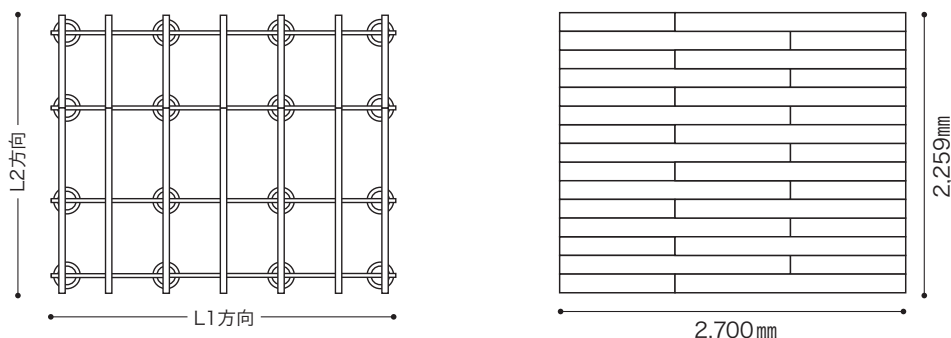
この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 この施工要領書は、RESIN WOOD2 及びTHILFEの
 2,700×2,259mmのデッキを施工するときの代表的な施工方法です。
 ご購入いただきました商品バリエーションによっては
 施工方法が異なりますのであらかじめご了承ください。

クロス工法の組立て手順

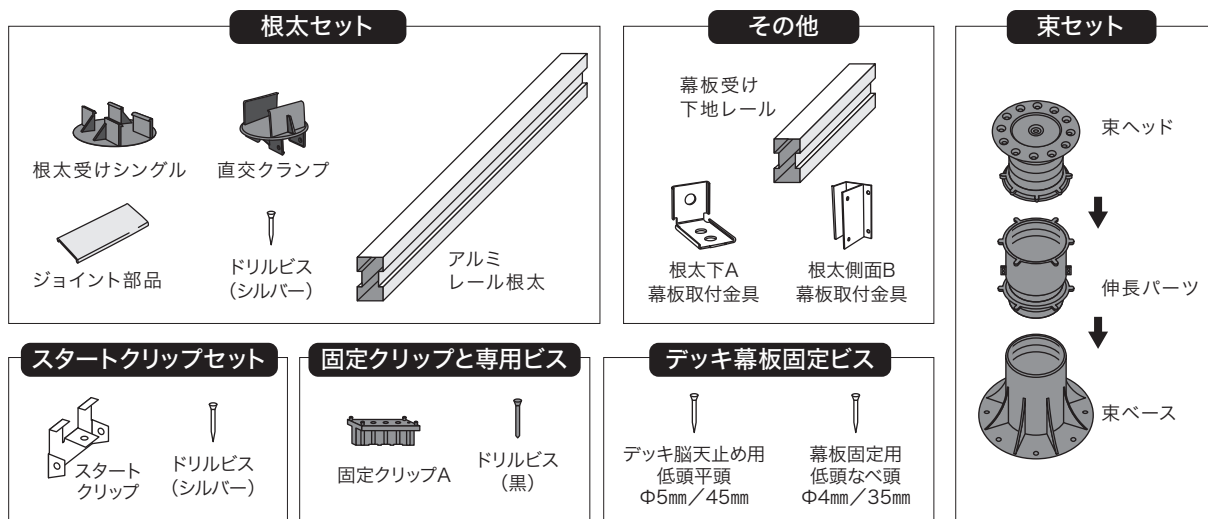
※450ピッチ床板W145 L1800 (1795) 対応規格の場合

【 施工完成イメージ図 】

2,700 × 2,259mm



【 THILFEのパーツ 】



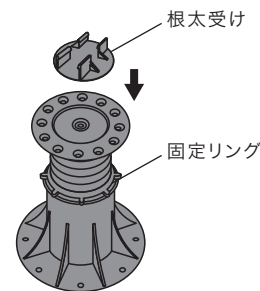
仕様によっては含まれない材料もあります。デッキ、幕板は記載しておりません。

1 束の配置



図面*を元に基準となる線を引き、根太受けを取り付けた束を配置していきます。
 この時、束セットを組みますが、固定リングは締め付けず、ある程度の高さとしてセットしてください。

※「THILFE 根太セット」の各商品ページより
 図面 (PDF) がダウンロードできます。



束をボンドで束石やコンクリートに固定する場合は、屋外用ボンドを使用してください。
 ※ボンドでの固定は必須ではありません。

【 参考 】
 ウッドデッキは風で飛ばされるのか

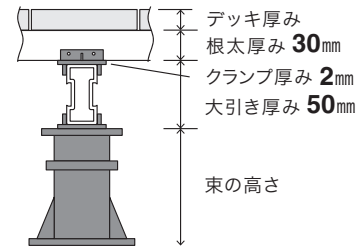


2 高さの調整



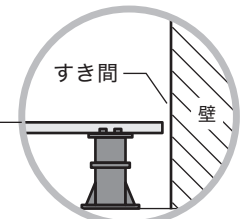
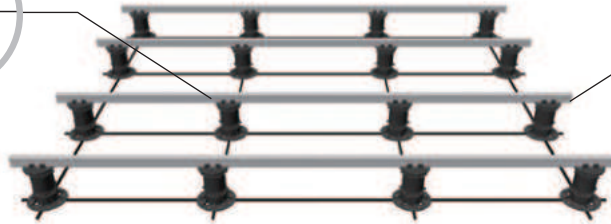
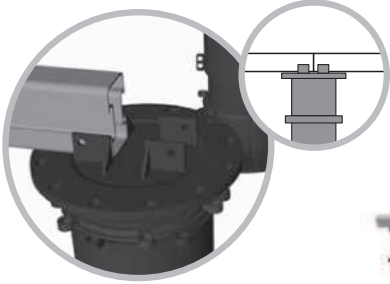
根太受けを取り付け、束の高さを調整します。全体の高さを合わせ、束の固定リングをしっかりと締めます。

※アルミ根太を取り付けた後でも微調整は可能ですが、根太受けが回らなくなるため回しにくくなります。



3 1層目 アルミ根太(大引き)の設置

L1方向の根太1,800mmまたは900mmのアルミ根太を束の上にセットしてきます。



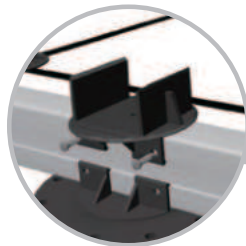
壁に寄せる場合も、当たらないように10mmほどすき間を空けて設置します

根太(大引き)の接続部分は必ず束の中心に来るようにセットしてください。

4 直交クランプの設置

1層目の根太(大引き)の上に直交クランプをセットします。

根太(大引き)の接続箇所はなべドリルビスで固定してください。



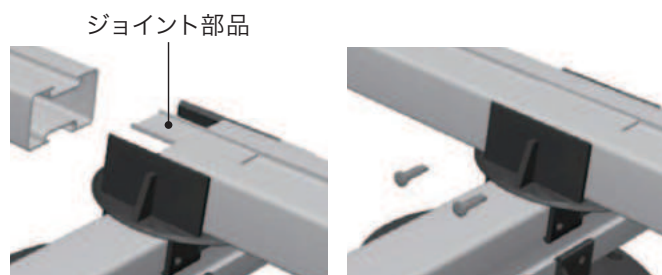
5 2層目 根太の設置

取り付けした直交クランプに、1,506または753mmの2層目のアルミ根太をL2方向に設置します。

※デッキを建物の壁に近接させて施工する場合、スタートクリップが取り付けにくくなるため、先にステップ③のスタートクリップの取付を行ってください。

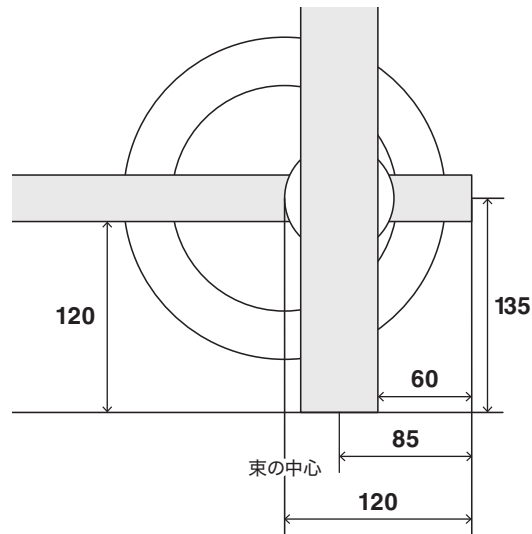
根太の接続箇所にはジョイント部品を挿入します。また、なべドリルビスで固定してください。

※直交クランプにビス穴はありませんが、容易にビス止めが可能です(下穴不要)



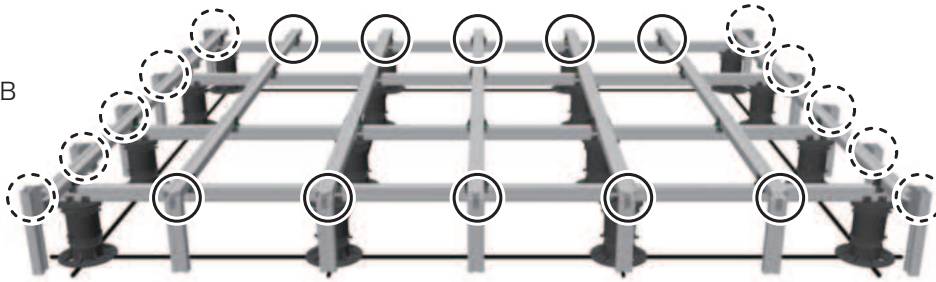
ワンポイント

コーナー部の寸法は以下ようになります。



6 幕板金具の設置 幕板金具は取付位置によって、根太下Aと根太側面Bの2種類があります。

- : 根太下A
- (点線) : 根太側面B



根太下Aの取付方法

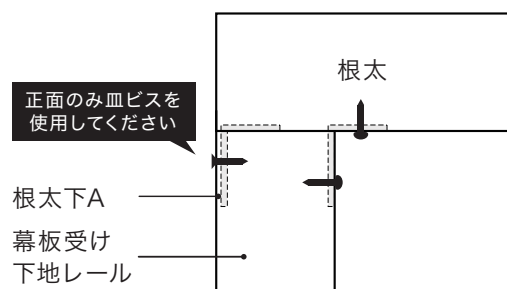
1か所につき1セット(2個)の根太下Aの部品を使用し幕板受け下地レーンを取り付けます。



ワンポイント

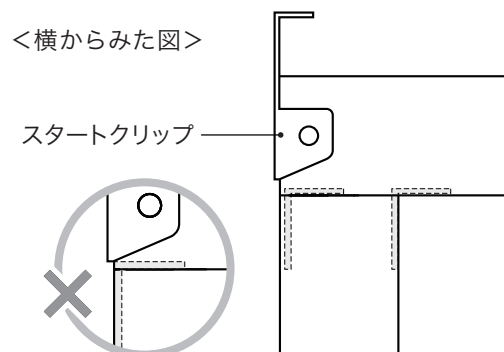
ビス穴は全部留める必要はありません。必須位置は以下です。

<横からみた図>

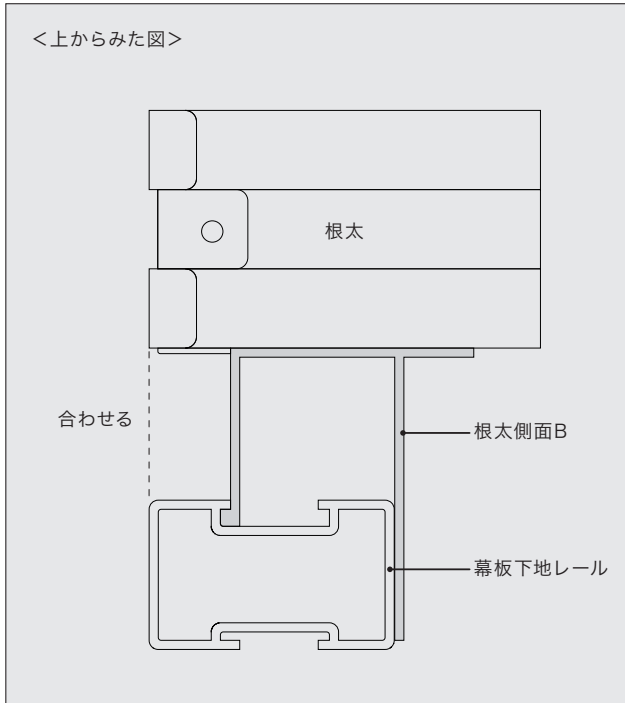


根太受け下地レーンの前後位置は、スタートクリップを仮取付し、同じ位置となる様に固定してください。

<横からみた図>



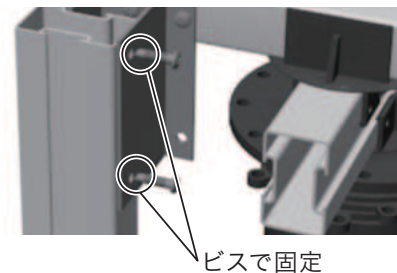
根太側面Bの取付方法



スタートクリップを根太に仮取付けし、根太側面B金具にも幕板下地レールを仮で取付け、固定する位置を決めます。固定する位置は左図を参照にしてください。



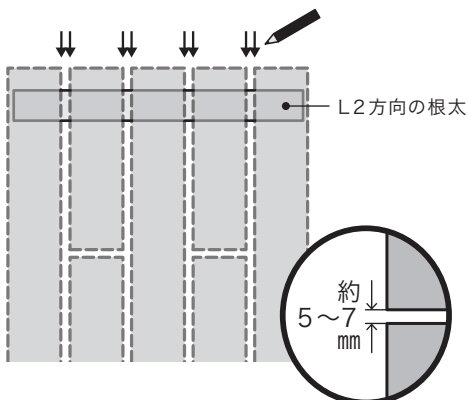
位置が決まったら、根太側面B金具の以下2点をビスで固定します。



幕板下地レールを下記の2点のビス留めで固定します。

THILFEの幕板下地レールは幅150mmの床板に合わせて設計されているため、他のサイズ巾の幕板を使用する場合は、必要に応じて下地レールの長さ、もしくは幕板の幅をカットして調整を行ってください。

7 デッキの割り付けの印をつける



RESINWOOD2は145mmの巾で約5~7mmの隙間を開けて設置します。

【例】2259mmの長さに15枚のデッキを並べる場合

$$2259 - 15 \times 140 = 84\text{mm} \quad \text{1つあたりの隙間は}$$

$$\frac{84}{14} = 6.0\text{mm}$$

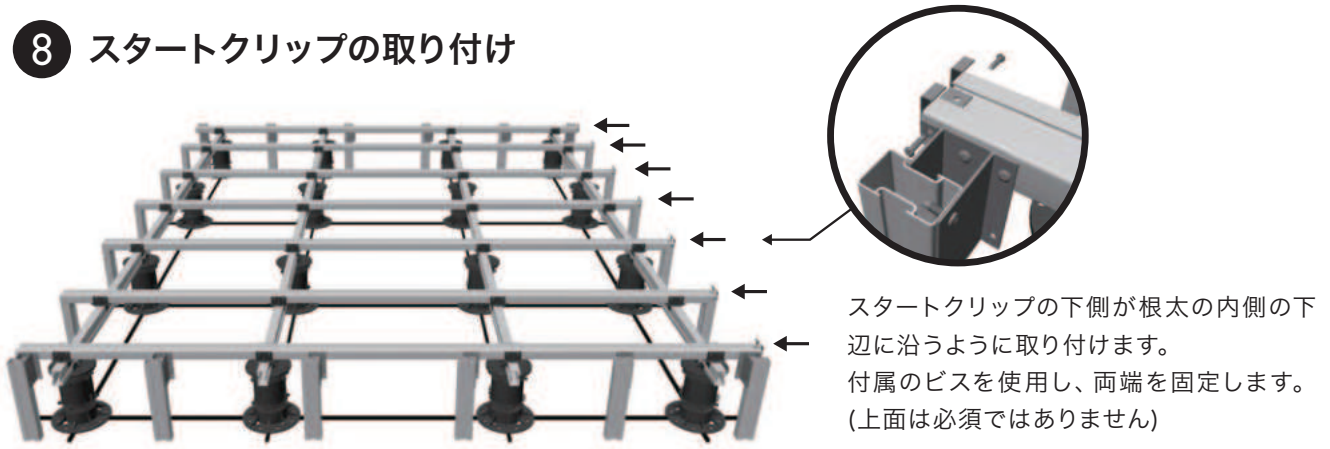
14箇所ある隙間の合計の長さ

【割付寸法表が生成できます】

RESTAのWEBページ「デッキの自動計算」に仕上がり寸法を入力することで、145mm幅のデッキを使用した場合の割り付け寸法表を生成、ダウンロードできます。



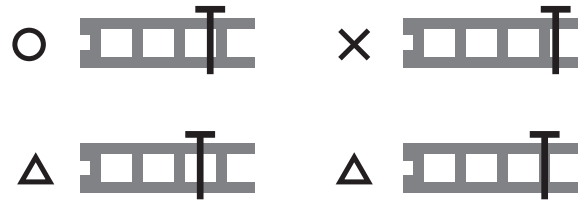
8 スタートクリップの取り付け



デッキの幅カットなどのため、スタートクリップが使用できない場合は、ステップ⑨にて脳天ビス止め固定してください。

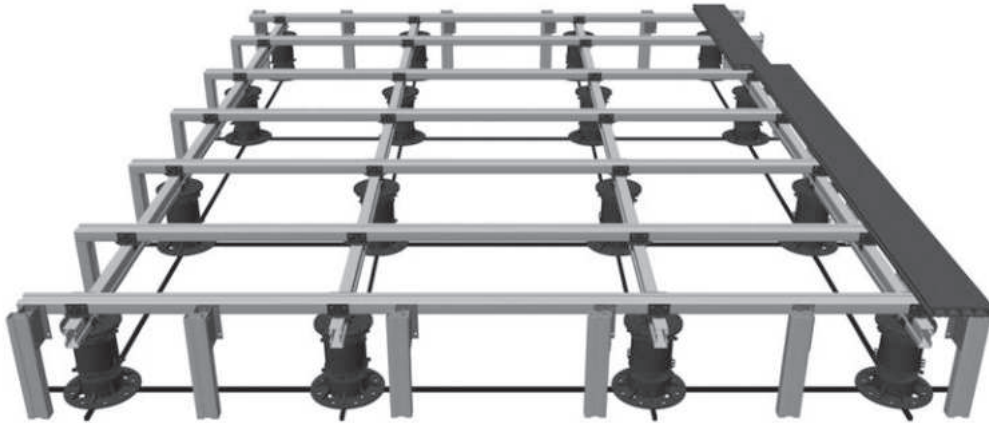
必ず下穴をあけてから施工してください。デッキの伸縮を考慮し、使用するビス(推奨サイズはΦ5mm)に対して、1.5~2.0mm大きい下穴をあけてください。

また、脳天ビス止めをする位置は、下図を参考にしてください

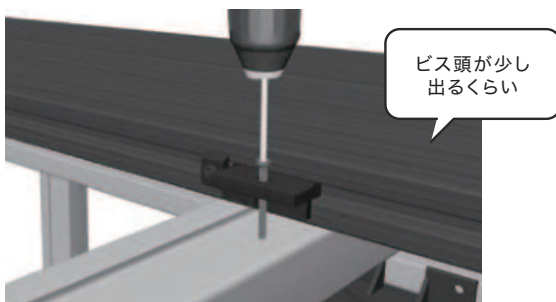


9 1列目の仮配置

必要に応じてデッキをカットし、1列目を根太の上に並べます。



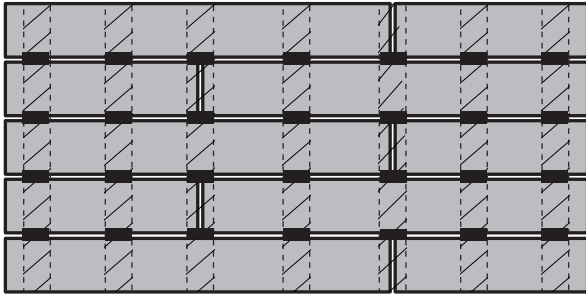
10 1列目クリップの仮固定



デッキにクリップをはめ、デッキが割り付けの線の位置にあることを確認し、黒いドリルビスを使ってクリップを固定していきます。この際、ビスは締め付けしないでください。締め付けると次の列のデッキがはまらなくなります。

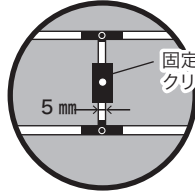
通常、固定に使用するビスはクリップの中心の穴に対して1点の固定で十分です。スロープを作る場合など、クリップに強い不可がかかる場合などは、適宜2点止めにしてください。

11 デッキの仮固定



■ クリップ ▨ 根太

2列目以降も同様にクリップを順に仮固定します。デッキが切れている部分も1つの固定クリップでまたぐように固定します。また、最終列はスタートクリップもしくは脳天ビス止めを使って固定します。



床板の継ぎ目部分はデッキ材の伸縮を考慮し、約5mmの隙間を開けてください。スペーサーとして固定クリップを代用することもできます。

12 すべてのクリップの固定



デッキが均等に配置されていることを確認し、全てのビスを締め付けます。

13 幕板を取り付ける前のサイズ調整



根太受け下地レールよりはみ出た部分のデッキは直線カットする

5mmのすき間を確保し、1795mmのデッキの寸法誤差もあるため、状況によってはL1方向にデッキがはみ出て、幕板とデッキが干渉する場合があります。取り付けた幕板下地レールよりはみ出た部分のデッキをカットしてください。

※デッキ固定前に、材料としてデッキをあらかじめカットしておく方法もあります。

14 幕板の取付



幕板を取り付ける際は、必ず幕板に下穴を開けてから施工してください。

また、2枚の幕板が連続する場所には1本の幕板受け下地に固定してください。

15 完成

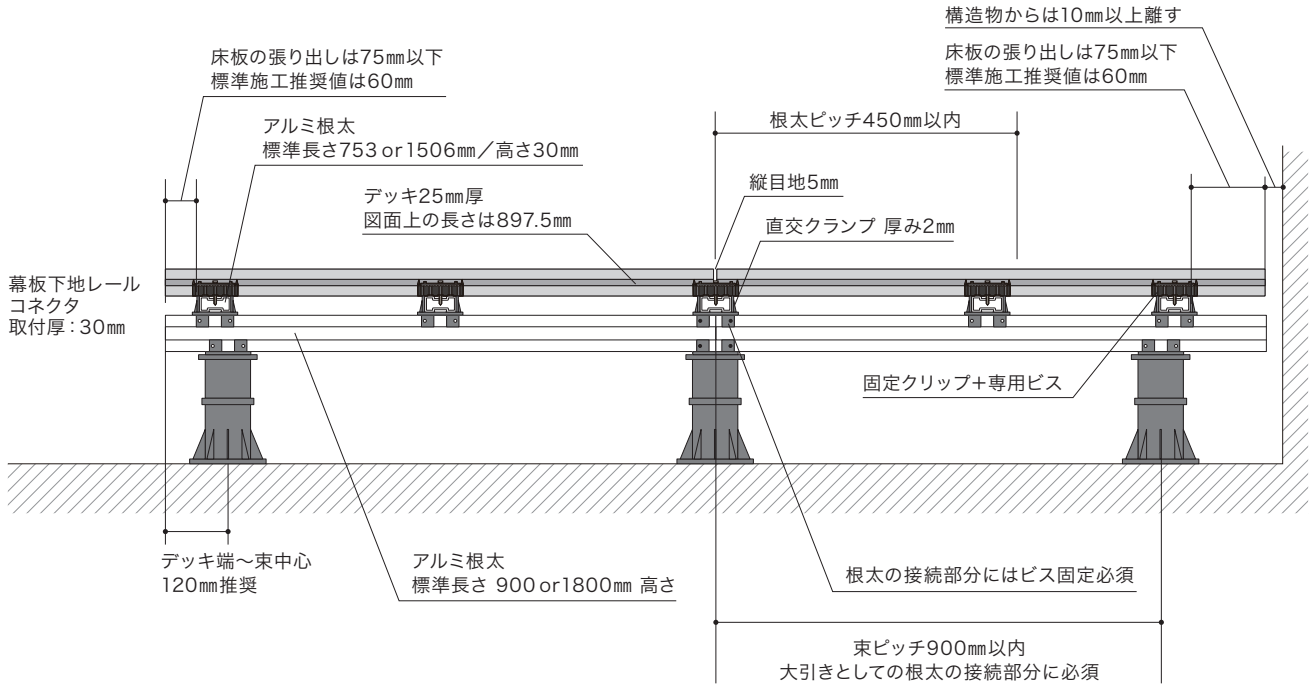


施工完了後、製品にがたつきなどが生じていないことを確認してください。

納まり図

L1方向

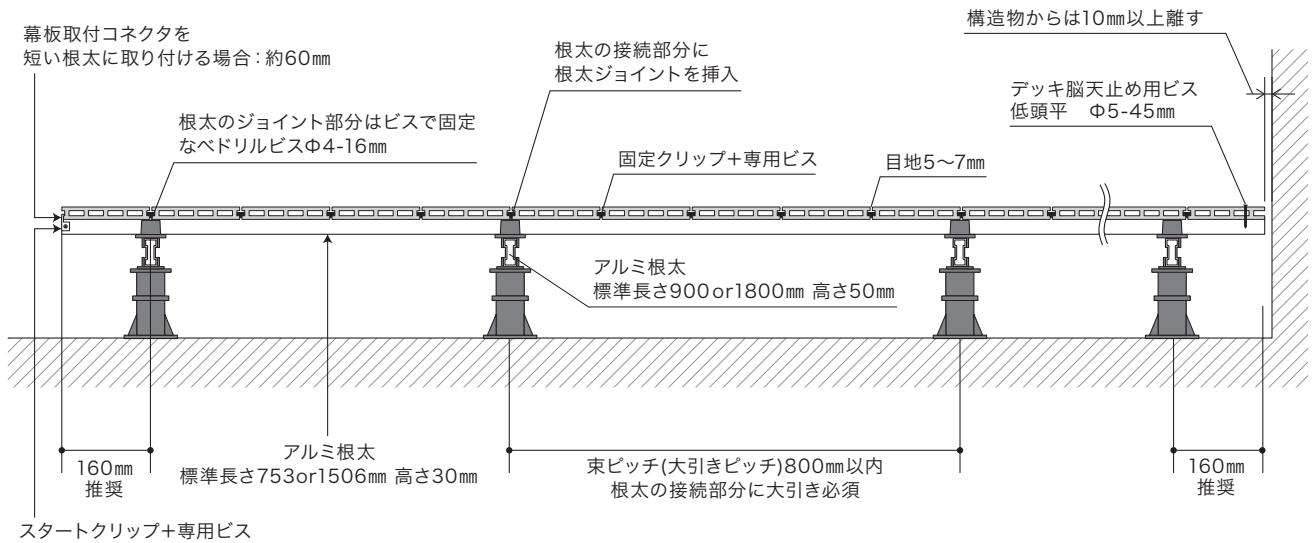
※この図では、根太ジョイント、スタートクリップを省略しています。



納まり図

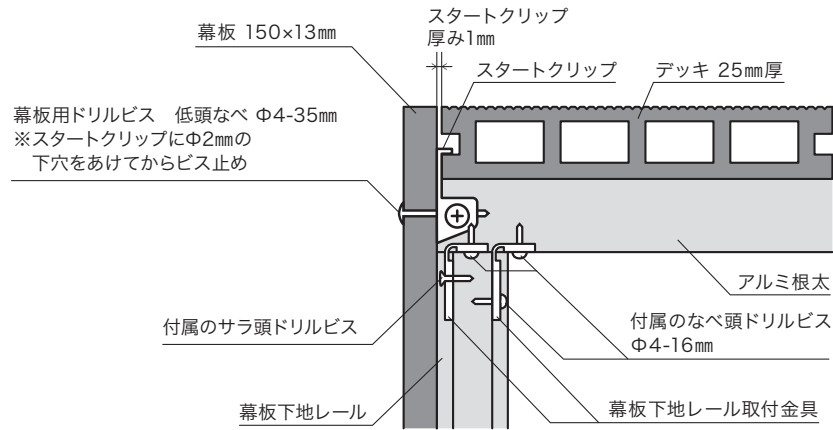
L2方向

※この図では、幕板、幕板受け下地を省略しています。



納まり図

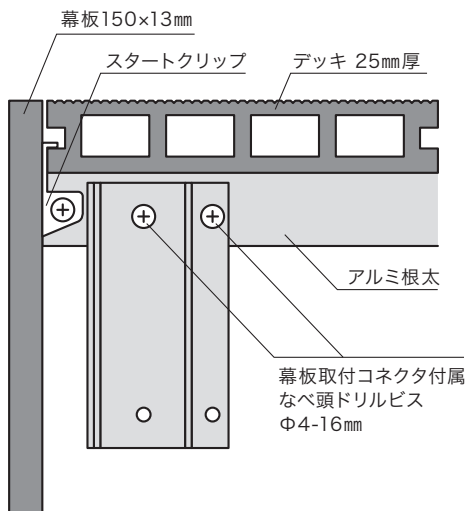
幕板取付け金具納まり図1(根太下取付)



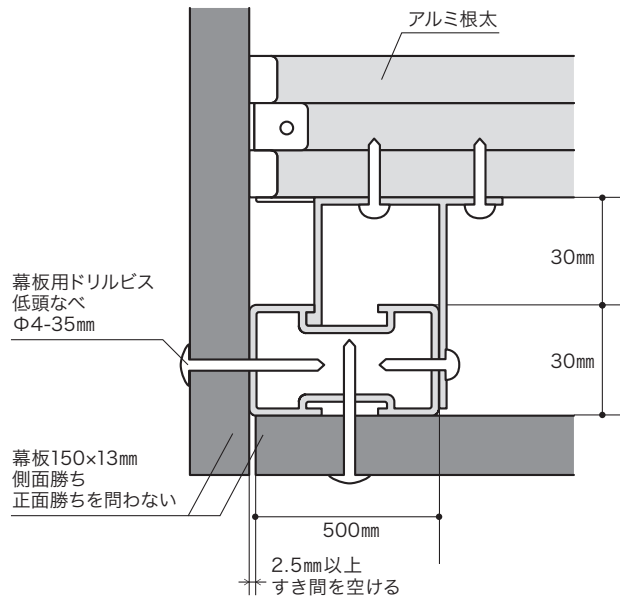
納まり図

幕板取付け金具納まり図2(長い根太に取付る場合)

【側面図】



【上面図】



Resta リスタ

住まいから、もっと楽しく。

株式会社RESTA

〒651-2111

兵庫県神戸市西区池上4丁目29-2

✉ info@diy-shop.jp @https://www.diy-shop.jp